

7月1日 全校朝会の話 「七夕のお話」

次の日曜日、7月7日は、七夕です。短冊に、どんなお願い事を書くのでしょうか。七夕のお願い事は、サンタクロースにプレゼントをお願いするのと違い、「〇〇できるようになりたい」というようなことをお願いするのが良いとされています。どんなお願い事をするのでしょうか。また、今日、5年生は、幼稚園の子と一緒に七夕かざりを作ります。優しく教えてあげて、素敵な七夕かざりを作ってください。

さて、七夕のお話は、「織姫星」と「彦星」のお話が有名ですが、今日は、その物語のお話ではなく、少し理科のようなお話をします。

「織姫星」は「こと座のベガ」という名前の星です。「彦星」は「わし座のアルタイル」という名前がついています。「一等星」と言われる明るい星で、太陽のように光輝いている星なのですが、地球から「アルタイル」までの距離は、16.8光年と言われています。生活の中で、光に速さがあるということは、なかなか実感できませんが、光の速さで、16.8年かかる距離だということです。「ベガ」はもう少し遠く、地球から25.3光年です。「彦星・アルタイル」は、今、約17年前に光った光を、「織姫星・ベガ」は、約25年前に光った光を見ていることになります。ここにいる皆さんが生まれる前の光を見ているのですね。



それでも、実は夜空に輝く星の中では、「アルタイル」や「ベガ」は地球からかなり近い方の星なのです。「織姫星」と「彦星」の間にある「天の川」も、実は星で、たくさんの星の集まりが川のように見えるから「天の川」と言われています。「天の川銀河」とも言われ、もっともっと遠くの方にたくさんの星があるから、川のように見えるのです。

この「天の川銀河」ですが、星の数は2000億から4000億とも言われています。また、「天の川銀河」の端から端までの距離は、10万光年から20万光年と言われており、想像できないほど巨大な星の集まりなのです。

私は、このことを調べて、「天の川銀河」の、星の数は2000億から4000億、端から端までの距離は10万光年から20万光年、ということが、とても気になりました。とても高性能な望遠鏡やコンピュータがあり、どんなことでも研究して調べられると思われる今の世の中ですが、私たちの住む地球が存在している「天の川銀河」の大きさについて、分からないことがまだまだあるのだと思いました。ネットが発達して、コンピュータが発達している今でも、まだまだ分からないこと、調べつくしていないことが、他にもたくさんあるのかもしれない。

まだまだ、分からないことがあります。これからたくさんのことを勉強していくみなさんが、解き明かすことができるのかもしれない。「まだまだ、分からないことがあるのだなあ」という思いで、学んでいってほしいと、七夕のことを調べながら考えました。